

第 22 回佐久市地域公共交通確保維持改善協議会 会議録

日時：平成 28 年 11 月 18 日（金）

9：30～10：40

場所：佐久消防署 3 階 講堂

1 開会

- ・開会宣言。
- ・欠席委員の報告。

2 あいさつ

- ・会長より挨拶。

3 会議事項

（1）地域内フィーダー系統確保維持改善計画の一部変更について

- ・事務局より、資料 1「生活交通確保維持改善計画」の説明。
- ・質疑、意見等 特になし。
- ・原案通り承認される。

（2）佐久市地域公共交通網形成計画素案について

- ・事務局 資料 2-1「佐久市地域公共交通網形成計画（素案）」、資料 2-2「佐久市地域公共交通網形成計画（概要版）」の説明。

・質疑、意見等

委員 昨今、高齢者の運転による事故が新聞、テレビ等でも取り上げられている。高齢者に対しては、免許の返納を推奨する状況である。このような中、代替となる移動手段としての地域公共交通がますます重要となると考える。先日、ある方から話を伺う機会があったが、バスが曜日で便数・時間帯が違い不便で、その日の固定した時間に通過すれば利用しやすくなると聞いた。廃止代替バスは月水金と火木の運行本数が違い、再編案では、週 5 日体制になるが、そこのギャップをうまく解消するような運行にしていきたい。

事務局 廃止代替バスについては利用の多い朝夕の通学便は残し、日中については利用者が大変少ない状況なので、平日運行のデマンドタクシーで対応していく。

委員 バスの時刻表を家庭で見直したが、全市分の時刻表は不要ではないかと感じた。自分の住んでいる地域に特化した時刻表があってもよいのではないかと感じた。また、バスの運行に関しては、病院や商業施設など主要な目的地に直接行ける特急便のようなものがないか検討していきたい。

事務局 時刻表の内容に関しては、使い勝手の良いものを作成したい。今後、検討していきたい。

特急便に関しては、市内循環バスは1周30～40分で検討しており、これまでの市内巡回バスより時間が大きく短縮する。いったんはこの形式で開始をし、今後の状況の中で考えていきたい。

委員 障害者の立場から発言したい。常和などはバスの停留所まで行くのが大変。巡回バスは、曜日限定で受診が限られるが、料金は障害者100円、福祉有償輸送や介護タクシーを使うと5倍から10倍ぐらい費用がかかってしまうので、常和から中込まで歩く方もいる。公共交通の運行が通院の受診日に合うとよい。

また、回数券について、(障害者は)巡回バスは現金で払わなくてはいけないため、100円の利用者への回数券も検討してほしい。

事務局 料金の関係は回数券も含め、今後検討していく。

運行の関係は、市内巡回バスはデマンド化し、現行水準並みで考えているが、できるだけ合うように考えていきたい。

委員 5年間の計画としてはよいが、長期的に考えた場合に人口減少を念頭に富山市のような中心部に集約していくといことも考えていかなければならない。

また、高齢者の移動については、通院・買い物だけに決めつけるのではなく、バスに乗って遊びに行くことで健康にも繋がる。そのような施設の誘致も必要になるのではないか。

住民も含め、真ん中に寄っていくまちづくりが必要。

事務局 まちづくりと連携を図りながら、素案を作成しているが、その先の長期的な部分に関しても、都市計画とは十分に連携して進めていきたい。

委員 外国人が利用する場合は、現在どのようになっているか。

事務局 時刻表、案内板等の外国語表記など、外国人対応は、現状ではできていない。今後の課題としたい。

委員 必要があるかどうかは、私には判断できない。ただ、佐久市の人口のうちの外国人の人口比率、バスの利用者数を考慮して、必要可否を判断すべきだと思う。全国的に外国人の流入が増えており、佐久市の住みよさは日本人だけでなく、外国人も判断する。そういったようなことを、中長期的に考えていく必要がある。

委員 市内循環バスと千曲バスの自主運行路線について、路線重複はしていないか。重複していた場合、調整はとれているのか。

事務局 正確な市内循環バスのルートは今後詰めていくが、重複の程度も考慮し、今後、協議していきたい。

委員 自主路線の利用も多いわけではない。相乗的にバスの利用者が増えているような仕組みづくりを考えて行って欲しい。

委員 高齢者の運転と免許返納の問題について、免許更新のハードルもあがると聞いているが、佐久市では免許の自主返納者に対して、何か対応を考えているか。我々、区長会では、現在、全国的にコミュニティづくりとして注目されている、「シェア金沢」の視察等を予定している。

事務局 免許を自主返納された高齢者に対して、市のバス回数券（11枚綴り）を10冊進呈している。また、タクシー協会に関しても料金の1割引がされている。返納者の特典については、今後の課題としたい。

委員 計画書の調査P21をみると、多くの路線で通学が不可となっている。多くの路線で、部活対応は難しいとしても、通常の登校が可能なダイヤを考えて行って欲しい。

・素案として承認される。

4 その他

事務局 今後の予定を説明

12月に住民説明会を実施。（12日野沢会館、13日市民創錬センター、15日浅科支所、19日あいとぴあ白田、20日望月支所）

また、同じく12月12日よりパブリックコメント（住民意見公募）を実施する。

いただいた意見を反映して計画案としてまとめていきたい。

5 閉会